

■科目の基本情報

・科目番号	01EG105・106
・授業科目名	感性認知脳科学基礎論1A・1B
・授業形態	1(講義)
・標準履修年次	1年次
・開設学期	春AB
・曜時限等	平日毎日開講、時限については別途配布資料を確認
・教室	総合研究棟D マルチメディア室
・単位数	01EG105:6単位, 01EG106:2単位

■担当教員等

・担当教員名	感性認知脳科学専攻前期全教員
・ティーチングフェロー(TF)	N/A
・ティーチングアシスタント(TA)	N/A
・オフィスアワー等(連絡先含む)	各教員に確認

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間の感性やこころと脳機能とを関連づけようとする基礎研究にとって、感性科学、行動科学、神経科学の基礎知識を習得することは必要不可欠であり、本専攻の教育目標と合致する。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

感性科学、行動科学、神経科学の基礎知識を習得する。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

感性認知脳科学専攻の全教員によるオムニバス形式の基礎講義を通して、各領域の研究内容について学ぶ。

・キーワード

感性認知脳科学、発達と環境、人間工学、認知、脳と睡眠、脳の分子基盤と意欲・情動、社会性

・授業計画 (Time Table)

- 1 感性認知脳科学が目指すもの(山中(敏))
- 2 デザインプロセス(内山)
- 3 感性デザイン概論(李)
- 4 質問紙法(山中(克))
- 5 生理学的計測法(國松)
- 6 行動解析(動物・ヒト)(加藤)
- 7 脳解剖学 I (増田)
- 8 脳解剖学 I (増田)
- 9 脳解剖学 II (首藤・佐々木)
- 10 脳解剖学 II (首藤・佐々木)
- 11 認知心理学の基礎(武田)
- 12 認知心理学の基礎(武田)
- 13 行動神経科学の最新技術(高橋)
- 14 行動神経科学の最新技術(高橋)
- 15 シナプス・神経回路発達の分子細胞生物学(武井)
- 16 シナプス・神経回路発達の分子細胞生物学(武井)

- 17 初期環境と発達(加藤)
- 18 初期環境と発達(加藤)
- 19 脳の発達(志賀)
- 20 脳の発達(志賀)
- 21 行動と薬理(山田(一))
- 22 行動と薬理(山田(一))
- 23 視覚情報と適合性(氏家)
- 24 視覚情報と適合性(氏家)
- 25 コミュニケーションのデザイン(山田(博))
- 26 コミュニケーションのデザイン(山田(博))
- 27 非侵襲脳機能計測で見る人間の知覚と認知(岩木)
- 28 非侵襲脳機能計測で見る人間の知覚と認知(岩木)
- 29 化学受容感覚(綾部)
- 30 化学受容感覚(綾部)
- 31 人間工学(山中(敏))
- 32 人間工学(山中(敏))
- 33 記憶と学習の基礎(一谷)
- 34 記憶と学習の基礎(一谷)
- 35 記憶と学習の障害と脳機能イメージング(高島)
- 36 記憶と学習の障害と脳機能イメージング(高島)
- 37 Neural Mechanisms of Spatial Navigation (Pavlides)
- 38 Neural Mechanisms of Spatial Navigation (Pavlides)
- 39 認知症の認知と行動の理解と介入(山中(克))
- 40 認知症の認知と行動の理解と介入(山中(克))
- 41 Sleep physiology (Lazarus)
- 42 モチベーションと睡眠(大石)
- 43 睡眠不足に伴うパフォーマンス低下(阿部)
- 44 睡眠不足に伴うパフォーマンス低下(阿部)
- 45 睡眠覚醒サイクルを通じた神経活動ダイナミクス(本城)
- 46 睡眠覚醒サイクルを通じた神経活動ダイナミクス(本城)
- 47 神経の再生と, 睡眠・記憶(坂口)
- 48 神経の再生と, 睡眠・記憶(坂口)
- 49 睡眠の進化と意義(林)
- 50 睡眠の進化と意義(林)
- 51 行動決定の脳内情報処理(設楽)
- 52 行動決定の脳内情報処理(設楽)
- 53 情動・モチベーションの障害(水挽)
- 54 情動・モチベーションの障害(水挽)
- 55 意欲を生みだす脳機能(山田洋)
- 56 意欲を生みだす脳機能(山田洋)
- 57 分子生物学(佐藤)
- 58 分子生物学(三尾)
- 59 価値判断の中枢神経機構(松本)
- 60 価値判断の中枢神経機構(松本)
- 61 社会性の生物行動科学(小川)
- 62 社会性の生物行動科学(小川)
- 63 社会性とプロダクトデザイン(李)
- 64 社会性とプロダクトデザイン(李)

・履修条件 (Prerequisite)

感性科学、行動科学、神経科学に興味を持ち、積極的に質問すること。

■成績評価方法

・評価方法

出席態度とレポート。

・割合

出席態度とレポートを総合的に評価する。

・評価基準

レポートの中で講義内容と自身の考察について適切にまとめられていること。

■受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

各回の講師が配布する資料。

・授業外における学習方法

各回の講師の研究内容を論文等で学んでおくこと。

・受講生に望むこと(Recommended Background)

積極的に質問すること。

・欠席の場合の措置について

研究に関するイベント(学会等)に参加する場合は欠席扱いとしない。

・備考